

平田建設が安全大会開催

ルール順守の重要性確認

110人が労災等根絶誓う

【帯広発】(株)平田建設(土幌、野中栄忠社長)は四月二十六日、土幌町総合研修センターで三十年代安全大会を開催した。工事本格化を前に、参加した約百十人が労働災害・交通事故の根絶に向けて決意を新たに示した。

あいさつに立った野中社長は「事故の大半はヒューマンエラーによるもの」と述べる一方、「ルールを守

らず事故が起きることが多い。ルールを理解していない、納得していない、ルールを守らなくても何も言われない。これらの繰り返し事故につながっているのではないか」とルール順守の重要性を指摘。その上で、安全第一で無事故・無災害達成を求めるとともに、週休二日制の実現に向けて「働きやすい環境をつくり上げていきたい」と働き方改革にも積極的に取り組む



野中社長は基本的なルールを守るよう求めた

姿勢を示した。

続いて、ことし四月に同社の取締役執行役員専務に就いた長谷川雅毅専務が「業界で四十一年仕事をしてきた。十分すぎるほど経験を積んでいる。微力だが貢献できればと思う。自分の身は自分で守る、また、周りにも気を配ることを徹底して、この一年、無事故・無災害で終えるよう祈念する」と述べ、参加者の結束を呼びかけた。

このあと来賓による指導講話が行われ、土幌駐在所の島田由樹所長が「交通事故防止」、土幌消防署の佐藤幸春消防司令が「災害に備えて」と題して、町内で発生した事例に基づき予防策などを伝えた。

今野敦常務が本年度の取組について詳細に説明したあと、平岡亮介土木二課長が力強く安全宣言。参加者全員で労働災害・交通事故の根絶を誓い合った。